

■**瑩山紹瑾** 禅僧。曹洞宗を初めて民衆化し地方に展開し、能登総持寺開祖になった。

けいざんじょうきん

**北条時宗執権**1268= 越前多禰(現在の福井県越前市帆山)で、豪族瓜生氏の長男に生まれる。幼名は行生。

**元寇文永の役**1274= 6歳 : 道元の最初の女性在家信者となった祖母明智の観音信仰の影響を受け、幼少時から信仰心に目覚め、  
元使斬殺・・・1275= 7歳 : 明智に導かれて永平寺に入り、三代住持徹通義介の下で沙弥となる。

**宋滅亡**・・・1277= **9歳** :

異国降伏祈祷1280=12歳 : 臨終間際の永平寺二代住持孤雲懷奘のもとで受戒し得度。名前を瑩山紹瑾と改める。  
**元寇弘安の役**1281=13歳 : 道元の直弟子でなく達磨正宗系譜の懷奘・義介の指導を受けたことが、のちの展開につながる。

**北条時宗没**・1284=16歳 :  
霜月騒動・・・1285=17歳 : 義介の指示により諸国行脚に立つ。宝慶寺寂円などを訪ね、比叡山の上って天台教学を学ぶ。  
・・・1286=**18歳** : 紀伊由良の西方寺(現在の興国寺)に心地覚心を訪ねる。  
厳しい修行を重ね、  
宝慶寺寂円を再訪して要職維那に任じられた後、  
久明親王将軍1289=21歳 : 永平寺に帰山。聞声悟道の境地に達する。

・・・1292=24歳 : 三代相論により永平寺を下山した義介に従って加賀大乘寺に移り、大悟。  
**平禅門の乱**・1293=25歳 :  
・・・1294=26歳 : この年、父が死去。**\*義介について正式に伝法し、道元から伝わる袈裟を授けられる。**  
・・・1295=**27歳** : 四国の城万寺(現在の城満寺)の住職となる。  
・・・1296=28歳 : 一旦永平寺で受戒作法の伝授を受け、城万寺に戻る。  
・・・1298=30歳 : 永平寺に帰住。  
・・・1300=32歳 : **\*義介の代理として大乘寺の修行僧に釈尊以来五十二祖の機縁を講義、後に「伝光録」としてまとめられる。**  
・・・1302=34歳 : 義介の後を継ぎ、大乘寺2世となる。  
・・・1304=**36歳** : 大乘寺開堂の式典を挙げる。  
・・・1306=38歳 : 義介より「洞家詞書の次第」を授けられ、伝法完了。  
・・・1309=41歳 : 義介が死去。師の略伝をまとめると、新寺建立の志を発し、大乘寺を覚心の弟子恭翁運良に任せる。  
・・・1311=43歳 : 大乘寺三代を明峰素哲に与え、加賀常住寺を開創。  
・・・1313=**45歳** : 能登永光寺を開創し、移住。  
以後生涯、伽藍整備につとめ、

**後醍醐天皇**・1318=50歳 :

・・・1320=52歳 : 後醍醐天皇より「十種の勅問」が下され、奉答。  
後醍醐親政始1321=53歳 : **\*能登総持寺を開創。**  
・・・1322=**54歳** : 後醍醐天皇から総持寺に「日本曹洞賜紫出世之道場」の綸旨を下される。永光寺仏殿を建立。円通院を建立し、弟子の祖忍に与える。  
正中の変・・・1324=56歳 : **\*「瑩山清規」を著わす。総持寺を退院し、**  
・・・1325=57歳 : 永光寺にて、病没した。